

令和六年度 神奈川県立よこはま看護専門学校  
一般入学試験 問題用紙 国語

## 注意事項

- \* \* \*

指示があるまでは中を見てはいけません。  
解答はすべて解答用紙に記入してください。  
問題用紙と解答用紙それに受験番号、氏名を記入してください。

受験番号
氏名

\*文字は丁寧に書くこと。漢字は楷書で書き、略字やなぐり書きの文字は不可とする。

\*問題文中から抜き出して答える問題、及び解答に字数制限の指示がある問題については、特に指示がなければ句読点・記号などは一字に数え、指定の字数に含むものとする。

一 次の語句の意味として正しいものをそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

1 五十歩百歩

ア 距離が近い。

イ 本質的には大差がない。

ウ 最初は慎重に行動する。

エ あわてて行動する。

2 後ろ髪を引かれる

ア 驚き、怖い思いをする。

イ 髪を切られ出家させられる。

ウ 心残りがして、振り切ることができない。

エ せつぱつまつたときは他を顧みることができない。

3

濡れ手で粟ぬあわ

ア 苦労をせずに利を得ること。

イ 上手な人でも失敗すること。

ウ 降参すること。

エ 手を汚して結果を得ること。

4 さじを投げる

ア 運を天に任せる。

イ 戰いから離脱する。

ウ あきらめて途中でやめる。

エ 他人のやつていることを非難する。

5 我田引水

ア 他人の手を借りず、自分のことは自分でする。

イ 自分が率先してよい行いをすること。

ウ 自分だけが優れていると思い得意になること。

エ 自分に都合のよい言動をすること。

二 1～4の文の傍線部と言葉のきまりや意味のうえで同じ用法のものをそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

1 私には貯金がない。

ア 僕は彼女を知らない。

イ 彼は力がない。

ウ 全然楽しくない。

エ 今年は晴れの日が少ない。

2 疲れからけがをした。

ア 学校から帰る。

イ 彼が来てから帰る。

ウ 不注意から失格になつた。

エ 米から日本酒を作る。

3 急いで学校まで自転車で行く。

ア 倒れるまで走り続ける。

イ 参考書を読まずにできるまでになつた。

ウ 先生まで風邪をひいてしまつた。

エ ここからあの丘まで走り続ける。

4 今日は晴れのようだ。

ア 雨が滝のようだ。

イ まるで生きているかのようだ。

ウ 駅まで続いているようだ。

エ 夜景が宝石のようだ。

### 三 次の文章を読んで後の間に答えなさい。

ニセのワクチンや検査キットを売りつける詐欺に、陰性証明書の闇取引。除菌をうたうホームクリーニングを装つた強盗事件も。海外の事例を見ると、新型コロナにつけ込む悪意は万国共通のようだ。数々の波を経てカンセンは続くが、各国当局は不正のテキハツに忙しい。〔A〕

いざこも同じなのは、政府のコロナ政策で失業手当や特別融資などをだまし取ったケースだ。<sup>⑦</sup>迅速な支払いのために自己申告に頼り、審査が甘くなつたツケが来ている。米国では不正の多さに捜査が追いつかず、コロナがらみの詐欺罪の時効を5年から10年に延ばす法案に大統領が署名した。〔B〕

英政府は支出について「財源は税金で、不正申請は納税者を害する」と位置づけた。税務専門家による納税者保護特別班を結成し、2年で約1400億円を取り戻した。〔C〕

日本でも不正「E」が相次ぐ。ワクチン接種のコールセンター事業で詐欺罪に問われたのは、近畿日本ツーリストの元支店長らだ。一昨日の初公判で3被告は不正を認めた。オペレーター数の水増しなどで、過大請求は2億2千万円に及ぶという。

刑事责任のツイキュウは当然だが、納税者としては回収にも力を入れて欲しい。PCR検査などの無料化事業では、<sup>⑨</sup>

計200億円以上の交付が取り消された。中小企業向けの給付では自主返還もされたが、まだ増えそうだ。「D」審査はゲンセイに。でも、本当に困つた人へ早く届けるには「[F]」が理想だ。それが通用しないのは寂しい。

(二〇一三年九月二十二日付け『朝日新聞』「天声人語」)

問1 傍線①～⑩の漢字は読みをひらがなで答え、カタカナは漢字に直しなさい。

問2 次の文は本文「A」～「D」までのどの文の後に続くか一つ選び、記号で答えなさい。

それでも「すべての回収は不可能」だという。

ア A イ B ウ C エ D

問3 「E」に入る語句として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 発見 イ 発覚 ウ 勃発 エ 発動

問4 「F」に入る「人間には生まれつき善の性質が備わっている」という意味の3文字の熟語を書きなさい。

四 次の文章は、『毎日新聞』の「社説 30万人に迫る不登校 つながり絶たぬ手立てを」(二〇一三年十月六日付け)である。この文章を読んで後の間に答えなさい。

①不登校の小中学生が昨年度、過去最多の約29万9000人に上った。10年連続の増加だ。新型コロナウイルスの流行期と重なる最近の2年間に急増し、計10万人以上も多くなつた。

②学校側が挙げた要因として最も多かつたのは、本人の「無気力、不安」で過半数を占めた。「生活リズムの乱れ」や「友人関係の問題」が続く。

③文部科学省は「コロナ禍で生活環境が変化し、リズムが乱れやすい状況が続いたことなどが背景として考えられる」と「A」する。

④不登校以外に「病気」や「経済的理由」などで登校できていない子どもも16万人余りいる。不登校に当たるケースも含まれている可能性があると指摘される。

⑤問題は、こうした子どもたちに対応する体制が整っていないことである。

調査では、養護教諭や教育支援センターなど、学校内外の専門家から相談・指導を受けられていない子が約4割に上つた。公的機関の相談体制の拡充が急務だ。

フリースクールに通つたり、自宅でオンライン学習に取り組んだりして、学びの機会を十分に得られている子も一部にとどまる。民間団体の活動を財政面などで支える仕組みの強化が求められる。

一人一人にふさわしい支援が提供されるよう、スクールソーシャルワーカーらの配置を一層充実させる必要がある。一方で、不登校を生まない学校づくりも進めるべきだ。

多くの学校が指摘した児童生徒の「無気力、不安」は、コロナ禍の前から目立つていた傾向であり、要因を詳しく分析できているとは言い難い。子どもの立場で原因を究明し、対策に生かさなければならない。

小中高校などでのいじめの認知件数も約68万2000件と過去最多だった。深刻な被害につながつた疑いがある「重大事態」の発生は前年度から約3割増えた。コロナによる行動制限が緩和され、子ども同士の交流機会が戻ってきたことが背景にあるとみられる。

コロナが子どもの心身に及ぼした影響は見通せず、大人の目配りが欠かせない。誰一人孤立させず、必要な時に手を差し伸べられる環境を整えなければならない。

問1 「A」に入る語句として適切なものを次のなかから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 鑑定 イ 分析 ウ 調査 エ 吟味 オ 検討

問2 問題文中の①～⑤の段落において筆者の意見や考えを述べたものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア ①段落 イ ②段落 ウ ③段落 エ ④段落 オ ⑤段落

問3 次の各文の中から、問題文の内容と合わないものを二つ選び、記号で答えなさい。

ア 不登校の小中学生が10年連続で増加し、約29万9000人に上った。そのうちの16万人は「病氣」や「経済的理由」によるものである。

イ 不登校の要因として最も多かつたものは本人の「無気力、不安」で過半数を占め、その背景としてコロナ禍で生活環境が変化し、リズムが乱れやすい状況が続いたことが挙げられる。

ウ 養護教諭や教育支援センターなどの学校内外の専門家から相談・指導が受けられていない子が約4割に上った。エ 学校に行くことができない子どもたちに対する対応を整えることが必要であり、公的機関の相談体制を整え、民間団体の財政面での支援強化が必要である。

オ 小中高校などでのいじめの認知件数が約68万2000件となり、重大事態の発生は前年度から約3割増えた。これはコロナとは直接関係はないが、子ども同士の交流機会が増えたことの影響とみられる。

## 五 次の文章を読んで後の間に答えなさい。

### 幸福の由来

人は誰でも幸福になりたいと願う。しかし、幸福とは何かということは、アリストテレス以来の哲学的な命題であつた。何をもつて「幸せ」と定義するのか。<sup>①</sup>このことに、三千年の文明史を通じて、すべての人が関心をもつてきた。

ここでは、哲学的論争を考察するつもりはない。「A」、幸福と感じることについて、すべての哲人が共通して述べていることは、根本において快感があるということである。快感とは、欲望を満たすことであり、欲望の大きなものは食欲、性欲、権力欲(競争欲)といったものである。

「B」、このような欲望を満たすと快感が得られるのかを生物学的に理解するには、逆のことを考えてみればよい。

「C」、食べることによつてヒトが快感を得られなければ、どうなるであろうか。食べなければヒトは死ぬ。食べたいという気持ちを起こさせることは、生物の生存にとって不可欠なことである。

性欲がなければ、子孫を残すことはできない。生命が個を超えて生きるためには、性欲は不可欠である。性欲がなければ、今日の私たちは存在しない。

権力欲(競争欲)は、おそらく敵と戦つて勝利を得る快感に由来すると思われる。もし、このような快感がなければ、生物は戦うことではなく、敵から追われるだけの存在であり、すなわち、生存競争に生き残ることは難しかつたであろう。こうしてみると、ヒトに快感をもたらす要因は、生きながらえるために必要だからである。生物が生きるために必須条件の行動と連動するように、快感神経中枢へつながる感覚(認識機構)を組み込んだのであろう。また、そのような組込みに成功した生物が、今日、生き残っているのであろう。

これは、「今日のヒトの存在が、三六億年の生命の歴史の集積であることを考えればあたり前のことである。『進化は、遺伝子の無計画な変異とその結果生じた形質の環境集団のなかでの選択によつて進行する』」というダーウィンの考えは、

分子生物学的なデータによつても裏付けられる、動かし難い事実である。幸福感も進化の産物なのである。

### 倫理性を生み出す進化

「1」幸福感のような哲学的課題に生物学的視点を持ち込むことには反発があるかもしれない。しかし、人文社会科学の分野でも、生命科学が正しく評価されなければ新しい展開をはかれないだけでなく、大きな誤りをおかす危険性が存在する。幸福の問題と同様に、生命科学の進展の成果が、人文社会科学の分野で今後、次々に評価されていくことが重要だと考えられる。例えば、今日、倫理的な行動、他人を思いやる心といったことは、人間のみがもつ高度な特徴だと考える人がいる。宗教的思考では、人間が野性から目覚めて、社会性をもつために発達してきた、特殊な性格が倫理性だという考えが支配的である。

「2」しかし、生態学的な観察によれば、ヒトと進化的に近い霊長類、特にボノボ（ピグミーチンパンジー）やチンパンジーにおいては、數十匹程度の集団のなかで、仲間を互いに思いやる行動、助け合いが見られるという。この傾向はボノボでより顕著で、しかもボノボは、遺伝学的にもチンパンジーよりヒトに近いのではないかという、分子生物学的研究がある。

「3」利他的な行為が、なぜボノボに見られるのか。進化的に考えると、少数の個体からなる集団が生き残るために、仲間を助けることは不可欠である。傷ついた仲間を助け、食料を仲間のあいだで分けることによって、集団そして個の生存が保障される。利他性をもたない個体からできた集団はやがて淘汰される。

「4」霊長類学者のフランス・ドゥ・ヴァールは、「生物について語る時には進化的な視点がなければ意味がない」という進化生物学者ドブジヤンスキイの考え方から、倫理的な行動は、決してヒト固有のものではなく、生物の生存にとつて必要なものとして、選択の結果、組み込まれてきたものと考えるほうが、より合理的ではあるまいかと考えている。

## 偶然と必然

進化の結果に合理的説明を与えることはできるが、予想は困難である。時間軸の制約から、実験を行える生物種は限られている。進化は偶然に起こり、その方向性は予想できない。どの変異がヒトの様々な性質に影響を与えるかは、未知のことが多い。しかし、いくつかの例では、極めて詳細な背景が知られている。

例えば、赤血球中の血色素（ヘモグロビン）β鎖遺伝子の一つの塩基に突然変異が起こることによって、ヘモグロビンタンパク質中のグルタミン酸がバリンに変わる。この結果、ヘモグロビンの分子構造が変わり、それがさらに赤血球の細胞の形を変えてしまう。この変異によつて起こる劣性遺伝病は鎌状赤血球症と呼ばれ、赤血球が毛細血管に詰まりやすくなるために壊れ、貧血が起こる。

ところが、この変異遺伝子を染色体の一方だけにもつ人は、マラリアに抵抗性がある。その結果、鎌状赤血球症遺伝子をもつ人の分布は、マラリア原虫の分布とみごとに重なるように、アフリカから中東、地中海沿岸からインドまで広がっている。つまり、マラリアが蔓延（まん）している地域では、この遺伝子を一方の染色体にもつことが生存に「D」だつたのである。ところが、マラリアがない北米に強制的に連れて来られたアフリカ人の子孫にとつては、貧血症の原因遺伝子となり、何ら恩恵をもたらしていない。まさに環境の変化が、遺伝子の役割、意義に大きな意味をもつ良い例である。

そのほかにも、糖尿病の遠因は、人類発生時の環境では常に食料が不足している状況のなかで、生命体が血糖値を上げるしくみを重視して体の中に組み上げてきた結果ではないか、と推測される。

貧血や糖尿病という、一見生存に不利な症状も、かつての環境下では生存に有利なしくみとして選択された。与えられた環境のなかで生物は、生存に結びつく変異を取り込んで、今日の姿となつていると考えるのが最も合理的である。

（本庶 佑『がん免疫療法とは何か』岩波新書）

問1 傍線①「」のこと」にあてはまる語句を問題文中から6文字で抜き出しなさい。

問2

「A」から「C」に入る語句として適切なものの組み合わせを次のうち一つ選び、記号で答えなさい。

- |   |   |      |   |     |   |      |
|---|---|------|---|-----|---|------|
| ア | A | たとえば | B | そして | C | もちろん |
| イ | A | しかし  | B | なぜ  | C | そして  |
| ウ | A | たとえば | B | しかし | C | もし   |
| エ | A | しかし  | B | なぜ  | C | もし   |

問3

「しかし文化的な背景から生じたヒト固有の倫理感があることも事実である。」という文は段落「1」～「4」のどの段落の最後の部分に続くか数字で答えなさい。

問4

「D」に入る語句として適切なものを次のうち一つ選び、記号で答えなさい。

- |   |    |
|---|----|
| ア | 優位 |
| イ | 不利 |
| ウ | 有利 |
| エ | 不足 |

問5

本文中で筆者が述べている内容と一致するものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 幸福と感じることには根本において快感がある。これは生存することに必要だつたからである。生物が生きるために必須の行動と運動するよう快感神経中枢につながる感覚を組み込んだからであろう。
- イ 幸福感のような哲学的課題に生物学的な視点を持ち込むべきではなく、生命科学が正しく評価されない危険性がある。これは他人を思いやる利他的な心は人間のみが持つ高度な特徴だと考える人がいるが、動物にも利他的な行為が存在することからもいえる。

- ウ 利他的な行為が動物においても見られるのは、少数の個体が生き残るために仲間を助ける必要があるからであり、倫理的な行動は決してヒト固有のものではなく、文化的背景から生じたものといえる。

- エ 進化の結果に合理的説明をすることはできるが、予想は難しい。どの変異が人の様々な性質に影響を与えるかは未知の部分が多いが、いくつかの例では詳細がわかつていて、一つの例としてある変異遺伝子が環境の変化によって生存に有利であつたり不利であつたりすることが挙げられる。

- オ 糖尿病は、生命体が血糖値を上げる仕組みを重視して体の中に組み上げてきた結果であり、貧血や糖尿病は現在では生存に有利なしくみとなつていて、与えられた環境下で生物は、生存に結び付く変異を取り込んでいる。